

# 沼田居平の家

～地産地消の終の棲家～

設計者 / ATELIER N 施工者 / 有限会社 戸丸工務店



## 老後をのんびり快適に暮らすための平家



## 設計趣旨

CONCEPT

周辺には農地が広がるのどかな雰囲気漂う緑豊かな場所に、定年後の終の棲家としてスローライフを楽しめる住空間を提案。

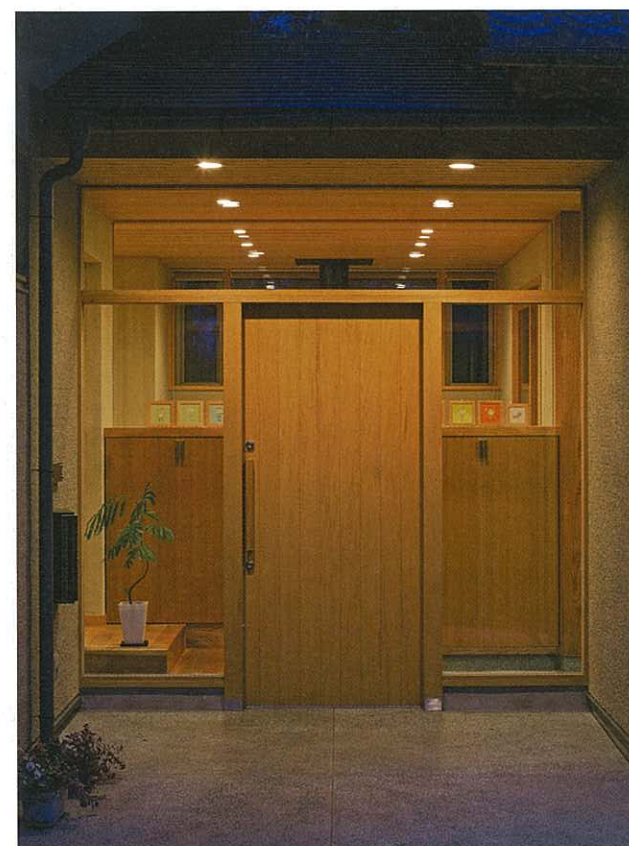
地元で伐採も手掛ける地産の木にこだわる材木屋さんから材料を供給してもらい、計画の段階からいろいろの樹種の木を適材適所に配して、地元の工務店が1本1本違う木を匠の技で手刻みにより組み上げた。建具材やテーブルカウンターにも県産材を使用するなど地産地消と手仕事にこだわった住まいとなった。

2つの切妻瓦屋根のボリュームを前後にずらしながら寄棟屋根でつなげることで、周辺の樹木を生かしつつ、オープンな玄関土間と居住空間のプライバシーの確保を両立。水廻りやアプローチなど足腰の弱いお母様はもちろん、将来のご自分たち夫婦の介護についても考えて計画。農作業の休憩・作業にと考えた土間や広めのテーブルカウンターなどにより、同じ敷地内に住む息子家族や近所の方々が集い、笑い声の絶えない住空間になった。

## 平面図



1F



## 講評 REVIEW

群馬の山々と緑に囲まれた長閑な農村地帯です。南北にずらした二つの切妻屋根の間に、斜路から玄関ポーチに連続している玄関ホールと土間があり、近隣のコミュニケーションの場となっています。玄関の北側に薪ストーブのあるリビングを中心に東側にプライベートスペース、西側にオープンなダイニングキッチンと畳室があり、その奥に洗面脱衣・洗濯・浴室、その南に物干し用の縁側があり広くダイニングキッチンの縁側に連続しています。プライベートスペースは、夫婦室と高齢の母の部屋があり、母の来客を直接招き入れるように考慮されています。深い軒の出と窓の配置が程よく季節に応じた日照のコントロール、通風が確保されており、自然エネルギーを有効に活用でき、また地元産の自然素材も活用されています。自然に囲まれた環境の中で、これからの高齢化社会を迎え、在宅介護も視野に入れた終の棲家として、スローライフを楽しめる住空間が完成され、平屋の楽しい生活が見えてきます。